

# ぐるり39

～自治調査会だより～

2016

11

No. 038

[発行日]  
2016.11.1



【写真提供】東大和市 【撮影場所】多摩湖（東大和市まちフォトコンテスト入賞作品）

- ▶市町村共同事業助成事業報告会を開催しました ..... 2
- ▶オール東京62市区町村共同事業
  - みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介 ..... 3
    - 昭島市 花の応援事業
    - 調布市 環境学習推進事業
    - 奥多摩町 森林環境整備事業
- ▶多摩交流センターだより
  - ・平成29年度広域的市民ネットワーク活動等事業の助成団体募集 ..... 4
  - ・多摩発・遠隔生涯学習講座11・12月開催予定の講座案内 ..... 5
  - ・東京雑学大学12月講義案内 ..... 5
- ▶平成27年度 調査研究報告書の紹介  
「高齢社会における「ヒト」と「モノ」の移動に関する  
調査研究～地域交通と物流に注目して～報告書」 ..... 6
- ▶調査研究報告書の活用に関するアンケート調査結果報告 ..... 7
- ▶編集後記 ..... 7
- ▶とっておきスポット～“ココ”で存じますか？～東大和市 ..... 8

Contents

11月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

# 市町村共同事業助成事業報告会を開催しました

当調査会では、東京都市長会及び東京都町村会と共に、市町村共同事業を推進しています。

平成28年8月4日(木)13:30から、東京自治会館4階の講堂にて、平成27年度に実施された共同事業の中から以下の9事業について、自治体担当者から1年間の成果を報告いただきました。どの事業も助成金を活用し、有意義な事業が実施されていました。なお、平成28年度の助成内容及び助成事業詳細につきましては、本紙6月号(No.33)P4～7をご覧ください。



▲真剣に発表を聞く参加者

## (1) 多摩・島しょ広域連携活動助成事業

一般連携活動事業(平成27年度実施団体:18団体)

	連携組織の名称	事業名	構成自治体
1	人材データバンク研究会	退職職員等人材データバンクの構築事業	武蔵野市、三鷹市、調布市、小金井市、国分寺市
2	二市マイナンバー制度活用研究会	マイナンバー制度広域連携の活用に向けた研究	武蔵野市、西東京市
3	多摩六市教育広報戦略推進協議会	地域住民の教育への理解促進事業	国分寺市、国立市、狛江市、東大和市、多摩市、あきる野市

子ども体験塾事業(平成27年度実施団体:20団体)

	連携組織の名称	事業名	構成自治体
4	小金井・三宅島連携推進協議会	青少年自然・文化体験交流事業 in 三宅	小金井市、三宅村

## (2) 多摩・島しょスポーツ振興事業助成事業

(平成27年度実施団体:28市町村)

	自治体名	事業名
5	国立市	子どもの体力・運動能力向上事業
6	利島村	ジュニアサッカー育成事業

## (3) 多摩・島しょわがまち活性化事業助成事業

(平成27年度実施団体:36市町村)

	自治体名	事業名
7	国分寺市	国分寺市×宇宙 まちに眠る魅力発掘事業
8	東大和市	ここがふるさと・東大和の魅力 発見・発信し隊事業
9	瑞穂町	東京みずほブランド事業



▲審査会委員による質問



オール東京62市区町村共同事業

# みどり東京・温暖化防止プロジェクト

## 市町村助成事業紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本プロジェクトの助成金を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施されている事業を紹介します。

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

シーナ



かれん



### 1 昭島市

#### 花の応援事業

昭島市では、駅前ロータリーの花壇をはじめ、公共施設や市道沿いの街路などを中心に、春と秋の年2回、花を植えて街を彩っています。

花植え作業は、緑のボランティアに登録していただいている市民の方々と、市内中学校の授業及びボランティア部の活動の一環として、また、小学2年生の授業の一環として、小中学生からご協力いただき、市内を花いっぱいにするよう事業を行っています。

市民ボランティアの皆様には、夏の雑草抜きもご協力いただいています。花植えに携わっていただき、緑化の推進とともに市民へ緑の大切さを伝えています。

【問合せ先】昭島市環境課 TEL:042-544-5111



Tama



昭島市

### 2 調布市

#### 環境学習推進事業

調布市では、市民が環境保全等への理解を深められるよう、環境学習推進事業を行っています。

写真は、この事業の1つとして、市民向けに開催した環境学習公開講座「Let's try! エコ・クッキング」の様子です。8月23日(火)及び24日(水)の2日間、東京ガスライフバル調布狛江にご協力いただき実施しました。当日は、食材を無駄にしない方法、水やガスの使用量を減らす工夫、旬の食材を使うといったポイントを講師から聞いた後に、調理実習を行い、親子で環境に配慮した「食の取組」について、楽しく学びました。

【問合せ先】調布市環境政策課 TEL:042-481-7086



Tama



調布市

### 3 奥多摩町

#### 森林環境整備事業

奥多摩町は、東京都のおよそ10分の1の面積に相当する225.53km<sup>2</sup>の行政面積を有し、また、その93.8%が山林で、町全体が秩父多摩甲斐国立公園の中にある豊かな自然に恵まれた「巨樹と清流のまち」です。

美しい森や清らかな水を未来に引き継ぎ、自然とともに豊かな暮らしを育んでいくために、環境の保全や資源循環型社会づくりなどに取り組んでいます。特に森林の水源涵養・温室効果ガスの吸収効果の向上及び花粉症発生源の抑制や保健休養機能の向上を図るため、スギ・ヒノキ等の人工林において間伐・枝打ち作業を実施しています。

【問合せ先】奥多摩町企画財政課 TEL:0428-83-2360



Tama



奥多摩町



## 多摩交流センターだより

公益財団法人 東京市町村自治調査会

平成29年度

### 広域的市民ネットワーク活動等 事業の助成団体募集 !!

～多摩地域の複数の市町村からなる市民団体の広域的な活動を支援します～

農林業・商店街活性化支援活動



子育て・障がい者・高齢者支援



防犯・防災活動等



スポーツ・芸術文化活動



西多摩振興活動etc.



### 「多摩地域を元気にしたい! 人の役に立ちたい!」

そんな市民活動を広域的に行っているみなさんのイベントや事業を応援します !!

当調査会では、市町村のワクを越えて行われる市民活動が、より拡大、充実するように支援をしています。現在、市民活動の分野は多岐にわたっていますが、特に子育て・高齢者・障がい者支援、防犯・防災活動などは、より市民の力が必要とされています。日頃の皆さんの広域的な活動の成果や発表の場の経費の一部を助成することによって、市民ネットワークや相互交流を推進し、多摩地域のひとづくり、まちづくりへとつなげていきます。

**募集期間**

平成28年11月 7日(月)～12月5日(月)

**制度説明会**

平成28年11月11日(金) 18:00～

多摩交流センターにて (5ページの案内図をご参照ください。)

※参加には事前申込が必要です。11月8日(火)までに、下記問合せ先に電話にてお申し込みください。その際、団体名・代表者名・ご連絡先を伺います。受付時間:平日9:00～17:00 ※説明会への参加は助成申請の要件ではありません。

※この助成制度は、平成29年度予算の成立を条件とし、その予算の範囲での実施になります。

※詳細はパンフレットか当調査会のホームページ (<http://www.tama-100.or.jp/>) をご覧ください。

問合せ先

公益財団法人 東京市町村自治調査会 事業部 企画課  
東京都府中市新町2-77-1 電話042-382-7781

インターネット  
放送による

# 多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催  
後援：武蔵野市教育委員会



## 11・12月開催予定の講座案内

153回

### 題名 陽の光～太陽の生涯

日時 平成28年11月10日(木) 14:30から約1時間  
講師 日江井 栄二郎 氏(元明星大学学長、東京大学名誉教授)



内容 地上のあらゆる生き物は、太陽との関わりがあるが故に今日まで生き続けてこられた。地球が銀河系内を迷わないでいられるのも、太陽の引力のおかげである。太陽が誕生する環境、誕生後の変遷、そして最後の期を迎える一生を概観し、今日の太陽は母なる太陽であると同時に、若々しい元気な太陽であることを示し、青年太陽と同時代に生を共に送れる恩寵を感じていただきたいと思っている。

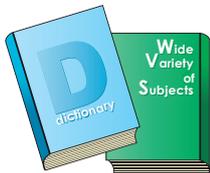
154回

題名 外国人留学生の就職成功への道 日時 平成28年12月8日(木) 14:30から約1時間  
講師 窪田 英樹 氏((株)フューチャーデザインラボ取締役副社長、元(株)リクルート九州支社長)

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市かたらいの道(11月10日)、武蔵野市西久保コミュニティセンター(12月8日)
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

## 東京雑学大学

### 平成28年12月講義案内

(会員は受講料無料・会員外は12月8日を除き、1回につき500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1065回	12月1日(木) 14:00から	世界に広がる能楽— “能楽だより”を発行して	鈴木 治夫 氏 (元東京芸術大学講師)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1066回	12月8日(木) 14:30から	外国人留学生の就職成功への道	窪田 英樹 氏 (株)フューチャーデザインラボ取締役副社長、 元(株)リクルート九州支社長	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター (JR中央線三鷹駅北口 徒歩7分)
第1067回	12月15日(木) 14:00から	泣かれるより笑われるお葬式— 江戸人の粋が現代に伝えるユーモア	小向 敦子 氏 (高千穂大学人間科学部教授)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1068回	12月22日(木) 14:00から	福沢諭吉の近代社会論を考える	西澤 直子 氏 (慶應義塾大学教授)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)

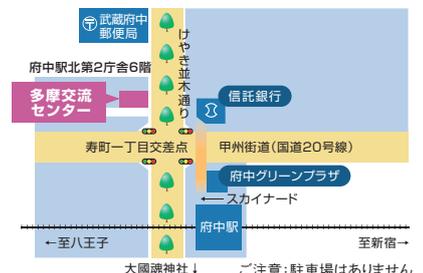
☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。  
※第1066回は、第154回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。  
[問合せ先] TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

### 「多摩交流センターだより」の問合せ先

#### (公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階  
TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127  
ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



# 平成27年度 調査研究報告書の紹介

本紙5月号(No.32)で概要を紹介した平成27年度の調査研究報告書のうち、5件の単年度調査研究報告書について、隔月で詳細を紹介していきます。今月号では、「高齢社会における「ヒト」と「モノ」の移動に関する調査研究～地域交通と物流に着目して～報告書」を紹介します。

本報告書は、当調査会ホームページ (<http://www.tama-100.or.jp/>) からダウンロードできます。

## 高齢社会における「ヒト」と「モノ」の移動に関する調査研究 ～地域交通と物流に着目して～報告書

### 1. 背景・目的

公共交通機関の減少、スーパーマーケットなどの撤退によって日常生活に支障をきたしている交通弱者が、高齢化の進行などにより一層増えています。

本調査研究は、個々の自治体で地域に相応しい「ヒト」と「モノ」の移動手段を選択する方策などを提示することを目的として実施しました。

### 2. 多摩・島しょ地域市町村における「ヒト」と「モノ」の移動の現状

- (1) 市町村の約6割が「ヒトとモノの移動問題が発生している」と認識している
- (2) 対策実施上の課題では、「財政支出(ランニングコスト)が大きい」ことを挙げる市町村が最多

### 3. 自治体で活用可能な「移動」のポイント

多摩・島しょ地域におけるヒトとモノの対策の実施状況を整理しました(右図)。

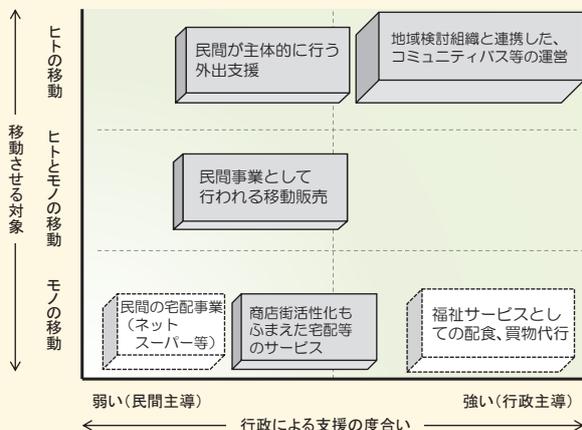
また、全国の事例を参考に、「ヒトの移動」「モノの移動」「ヒトとモノの移動」のそれぞれについて、「住民ニーズへの対応」と「財政支出の軽減」の2つの観点から、課題解決のポイントをまとめています。

### 4. 未来へ向けての提言

今後の新技術の開発の方向性を予測し、実現可能な規制緩和とあわせて、ヒトとモノの移動問題を解決する方策を提示しました。

#### 【ヒトとモノの移動に関する未来へ向けての提言】

検討課題	対応する方策
(1) 住民ニーズを満たすための財政負担増の発生	●自動運転技術の活用 →バスや乗り合いタクシーなどの人件費を抑制し、公共交通を運行する自治体の財政負担を軽減する。
(2) 過疎化や高齢化によって発生する人材不足	●自動運転技術の活用 →人口減少によって不足するマンパワーを自動運転技術によって補う。
(3) 路線バスによる貨物輸送拡大の制限	●規制緩和の推進 →規制緩和により、路線バスへの搭載量の制限を引き上げ、路線バスによる貨物輸送量を増加させる。
(4) 路線バス廃止時の貨物を輸送する手法	●自動運転技術・ドローン技術の活用 →ドローンの活用により、路線バスによる輸送を代替する。島しょ間輸送にも活用できる。



# 調査研究報告書の活用に関するアンケート調査結果報告

当調査会は、毎年度、各種の調査研究報告書を作成し、多摩・島しょ地域市町村等に配布するとともに、ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)でも広く公開しています。

この報告書が自治体の現場でどのように活用されているのかについて把握し、今後の調査研究に役立てるため、5月に多摩・島しょ地域の39市町村を対象としたアンケート調査を実施しました。

## ○ 9割近い市町村で事業に役立てられています

調査研究結果の活用状況を見ると、「毎年度、事業実施の参考にしている」、「その年の調査研究テーマによって、個別の行政課題と合致する場合には参考にしている」を合わせ、計35団体(89.7%)が調査研究結果を事業に活用していると回答しています(図1参照)。

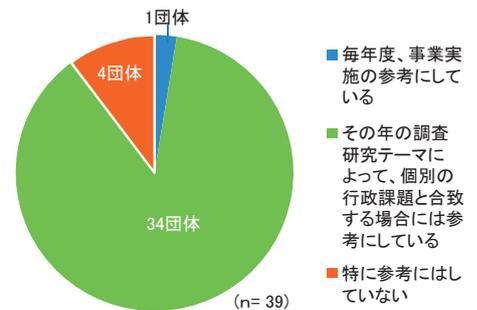
## ○ 近年発行の報告書が多く活用されています

平成27年度1年間の活用事例をみると、「基礎的な情報、データ等として参考にした」という回答をはじめとして、20団体で活用実績があり、全体の51.3%を占めています(図2参照)。

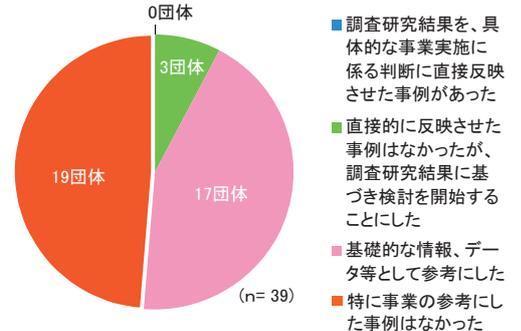
活用された報告書の例としては、「住民の声を活かした自治体の経営改革についての調査研究(22年度発行)」が広聴事業などの参考資料として、また、「姉妹都市・友好都市交流の新たな可能性に関する調査研究(25年度発行)」が姉妹都市交流事業の参考資料としてそれぞれ役立てられています。

当調査会は、近い将来大きな課題となるようなテーマを選定し調査研究を行っておりますが、これに呼応するように2～5年前に発行された報告書が多く利用されていることが回答からうかがえます。引き続き市町村行政に資する調査研究に取り組み、その成果の還元を図っていきます。

(図1) 調査研究結果の活用



(図2) 平成27年度の活用事例



## 編集後記

- 陰暦「霜月」、11月となりました。早いもので、本年もあと2ヶ月間を残すのみです。
- さて、今年を振り返るといろいろな出来事がありました。
  - ・年明け早々の1月に、日銀がマイナス金利政策を発表し、社会に激震が走りました。
  - ・2月に「保育園落ちた!」というブログが話題になり、3月には北海道新幹線が開業しました。
  - ・4月に発生した熊本地震では、震度7が2回起こったうえに長期に余震が続き、気象庁は「余震」という言葉を使わなくなりました。
  - ・5月には伊勢志摩サミットが開催され、オバマ大統領が現役の米国大統領として初めて広島を訪問しました。
  - ・7月の参議院議員選挙では初の18歳からの選挙が実施され、舛添知事辞任に伴う選挙で、小池都知事が誕生しました。相模原障害者施設的事件発生や繰り返される北朝鮮のミサイル発射、世界各地で頻発するテロは、今日も社会に大き

な不安を与えています。

- ・8月から9月にかけて、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが開催され、次期開催都市の東京へ大会旗が手渡されました。また、天皇陛下の生前退位のご意向表明は大きな反響を呼んでいます。
- ・9月に発生した台風10号は、勢力が衰える前に東北地方に直接上陸し、東北・北海道地方に大きな被害をもたらしました。
- ・11月には米国大統領選挙が控えており、全世界がその動向に注目しています。
- 世界情勢は混沌としており、日本でも社会の多様化が一層進み、より柔軟で細やかな対応を必要とする課題が増えているように感じられます。
 

多摩・島しょ地域もこのような大きな変化のうねりのなかにあり、自治体を取り巻く状況は大きく動いています。先行き不透明な中で、当調査会は、今後も皆さんに有益な情報をお届けできるよう、懸命に努めて参ります。

(M.N)



# とっておきスポット

## 第26回 東大和市

“ココ”  
ご存じ  
ですか?

東大和市といえば、表紙の多摩湖を連想するかもしれないけど、今回はわたげのボクが都立東大和南公園内の「平和広場」を紹介するよ。



### 旧日立航空機株式会社変電所

平和広場にあるこの建物は、軍需工場の設備として建設され、昭和20年の空襲による機銃掃射の弾痕がそのまま残る戦災建造物なんだ。「西の原爆ドーム、東の変電所」なんて呼ばれる貴重な建物なんだって。

戦後、「平和への熱い思い」を次代に伝えたいという市民や元従業員の方々の運動によって、平成7年に市の指定文化財(史跡・戦災建造物)に指定されたんだ。その後周囲は現在のように平和広場として整備されて保存されているんだよ。

### うまかんべえ〜祭

うまかんべえ〜祭は、この平和広場で4月に開催される大きなお祭りなんだ。

地元食材を活かした創作グルメのコンテストや有名人と地域の発表団体が共演するステージ、フリーマーケット、ウォーキングなどイベントが盛りだくさんで目移りしちゃうよ。

普段は公開日しか見られない旧日立航空機株式会社変電所の内部も、この期間は特別に公開するんだって。

このお祭りから生まれた観光キャラクターの“うまべえ”にも会えるらしいよ。みなさんもぜひ、ふわっと行ってみたい!



### 【現地案内】

東大和市桜が丘2・3丁目(都立東大和南公園内)

- 西武拝島線・多摩モノレール「玉川上水」下車 徒歩5分
- JR中央線・青梅線・南武線・五日市線「立川」から立川バス 村山団地行き「玉川上水」下車 徒歩8分  
または 西武バス 南街行き「南街」下車 徒歩5分

※旧日立航空機株式会社変電所の内部は、毎月第2日曜日にボランティアの方により公開されています。また、東大和市の公式ホームページから「東大和市公式動画チャンネル」に進んでいただくと、VR動画をみることができます。

【情報・写真提供】 東大和市市民部産業振興課 TEL 042-563-2111 (代表)



【発行日】平成28年11月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】岸上 隆

〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています。